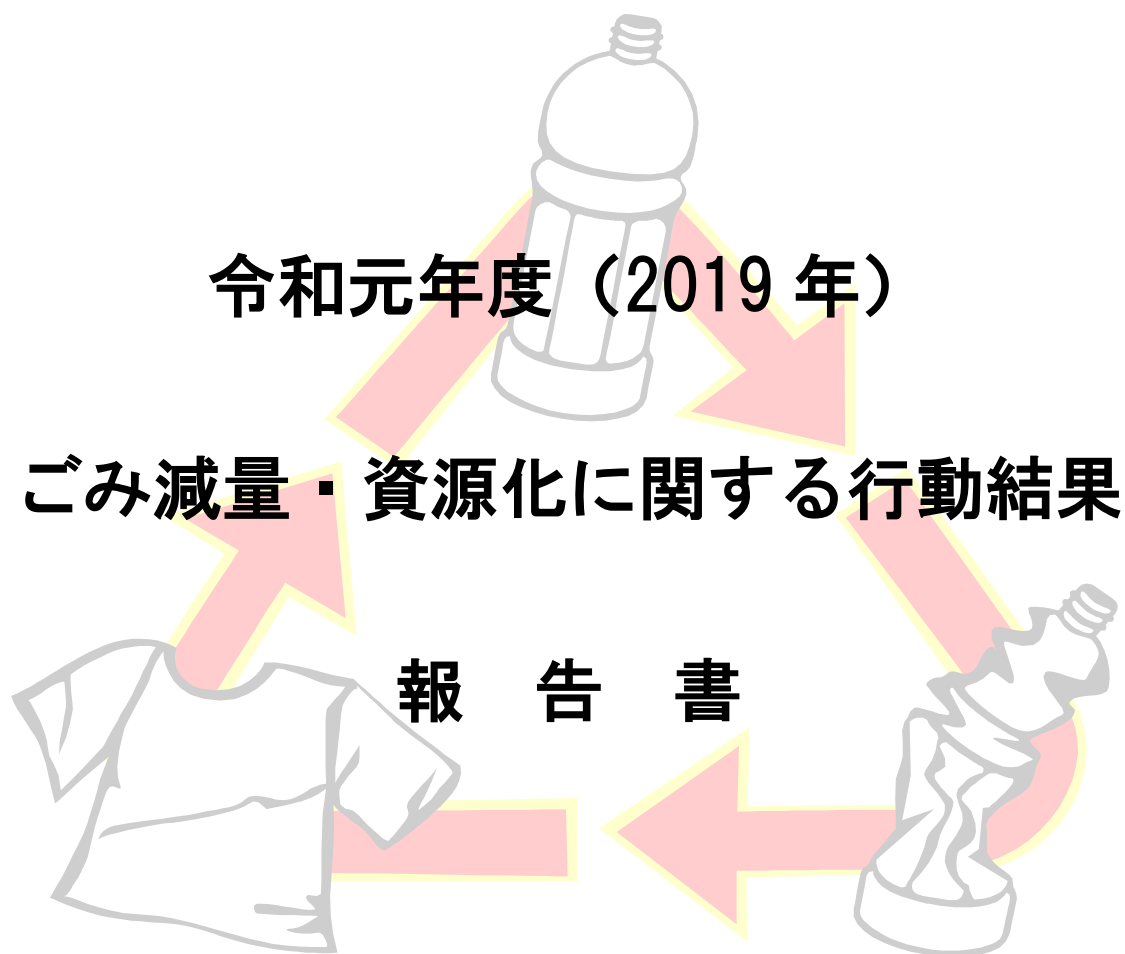



めざそう！！ひとり1日100gのごみ減量

第4次 ごみ減量・資源化に関する行動計画(平成29年度～令和2年度)

～みんなの知恵と力で目指す循環型社会～



入間市総合クリーンセンター

 この発行物は
資源ごみ【雑がみ】
として出せます。

《参考》個別施策の評価について

☆	100%以上の達成率	△	達成率 50%から 70%未満
◎	達成率 90%から 100%未満	×	達成率 50%未満
○	達成率 70%から 90%未満	—	評価のないもの

●環境意識の啓発

◎意識の向上

No.1 学校教育との連携の促進

評価 ○

取組内容	ごみに関する出前講座、社会体験チャレンジ事業やごみ処理施設訪問学習などを実施し、環境教育を促進する。										
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①社会体験チャレンジ事業を継続（拡大）する。 ②ごみ処理施設訪問学習を継続する。 ③出前講座を継続（拡大）する。 ④その他環境に関する事業を学校教育と連携し実施する。										
実施状況	○社会体験チャレンジ事業（中学校 2 年生） ・金子中学校 4 人 ○ごみ処理施設訪問学習（小学校 4 年生） 16 校 1,169 人 （その他） 352 人 ○出前講座の実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学 校 名</th> <th style="width: 20%;">実 施 日</th> <th style="width: 30%;">場 所</th> <th style="width: 20%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新久小学校 4 年生</td> <td>11 月 22 日（金）</td> <td>新久小学校 視聴覚室</td> <td>44 人</td> </tr> </tbody> </table>			学 校 名	実 施 日	場 所	参加人数	新久小学校 4 年生	11 月 22 日（金）	新久小学校 視聴覚室	44 人
学 校 名	実 施 日	場 所	参加人数								
新久小学校 4 年生	11 月 22 日（金）	新久小学校 視聴覚室	44 人								

No.2 広報紙や市公式ホームページを利用したPRの充実

評価 ☆

取組内容	広報紙や市公式ホームページ等を利用し、各種リサイクル情報等を提供する。		
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①広報紙や市公式ホームページによる情報発信を継続する。 ②リサイクル情報誌を年 1 回発行する。 ③入間ケーブルテレビ等による情報発信を継続する。 ④その他の方法による情報発信を検討する。		

実施状況	<p>○広報紙や市公式ホームページ等による情報発信（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 1日号 ごみの出し方にご注意を ・4月15日号 リサイクルプラザボランティアスタッフ募集 ・5月 1日号 第42回市民清掃デーの実施 ・7月 1日号 食品ロス削減のご協力 ・8月 1日号 夏休み親子体験教室の講座募集 ごみの不法投棄は犯罪です！ ・10月1日号 （トピックス）彩の国エコぐるめ事業市内協力店募集及び紹介 3R推進月間・マイバッグ利用の推進 ・10月15日号 雑がみの回収にご協力 ・11月1日号 ごみ焼却施設、最終処分場のダイオキシン類測定結果 ・12月1日号 （トピックス）入間市のごみ量と処理経費 ・12月15日号 年末年始のごみ収集・持ち込み ・3月 1日号 資源回収の協力依頼及び資源再利用奨励補助金のお知らせ <p>○リサイクルプラザ情報誌の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第22号作成（広報いるま4月15日号と同時配布） <p>○「入間市の家庭ごみの分け方・出し方」作成（広報いるま3月1号と同時配布）</p> <p>○入間ケーブルテレビ等による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第42回市民清掃デーのお知らせ ・あおぞらフリーマーケット、体験教室等のイベント開催 ・年末年始におけるごみの出し方とお願い <p>○ごみ分別アプリによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度末ダウンロード数 9,476件 ・食品ロス、イベントなどごみに関する情報
------	--

No.3 廃棄物を利用した創作展の開催や参加

評 価 △

取組内容	<p>廃棄物を利用したアイデア作品の出展や標語、ポスターコンクール展等に参加し、ごみの減量及び資源化を考える。</p>
目 標	<p>平成29年度～令和2年度 【継続（1回/年）】</p> <p>①ポスターコンクール展等への参加を継続（拡大）する。</p> <p>②廃棄物を利用した創作展等の開催を研究する。</p>
実施状況	<p>○3R活動推進ポスターコンクールへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金子、狭山小学校の作品3点を応募

No.4 フリーマーケットの開催によるリユースの促進

評価 ○

取組内容	定期的にフリーマーケットを開催し、リユースに対する意識啓発を促す。																													
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続（11 回/年）】 ①11 月に開催しているあおぞらフリーマーケットを継続（拡大）する。 ②リサイクルプラザで開催しているミニフリーマーケットを継続（拡大）する。 ③ミニフリーマーケットと同時に開催している各種事業の充実を図るため、開催内容等を検討する。																													
実施状況	<p>○第 21 回あおぞらフリーマーケット 11 月 10 日（日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出 店 数</td> <td>102 店舗</td> <td>98 店舗</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>3,400 人</td> <td>3,600 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ミニフリーマーケット 毎月第 2 日曜日「リサイクルの日」（4 月、11 月を除く） 10 月（荒天）、3 月（感染拡大防止）のため中止</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出 店 数</td> <td>98 店舗</td> <td>113 店舗</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>997 人</td> <td>1,840 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○古布セール 12 月 5 日（木）、6 日（金）、8 日（日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売件数</td> <td>326 件</td> <td>347 件</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>500 人</td> <td>467 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>古布セール（3日間開催）のうち 1 日をミニフリーマーケットと同時開催</p>				令和元年度	平成 30 年度	出 店 数	102 店舗	98 店舗	来場者数	3,400 人	3,600 人		令和元年度	平成 30 年度	出 店 数	98 店舗	113 店舗	来場者数	997 人	1,840 人		令和元年度	平成 30 年度	販売件数	326 件	347 件	来場者数	500 人	467 人
	令和元年度	平成 30 年度																												
出 店 数	102 店舗	98 店舗																												
来場者数	3,400 人	3,600 人																												
	令和元年度	平成 30 年度																												
出 店 数	98 店舗	113 店舗																												
来場者数	997 人	1,840 人																												
	令和元年度	平成 30 年度																												
販売件数	326 件	347 件																												
来場者数	500 人	467 人																												

No.5 廃棄物会計の導入の検討

評価 —

取組内容	平成 17 年に改正された廃棄物処理基本計画方針において、一般廃棄物事業のコスト分析手法が示された。平成 27 年度から平成 28 年度にかけて、調査・研究を行ったが、導入自治体が少なく比較しても効果が少ないことや、諸課題（事務量の増加、事務の複雑化等）もあることから、導入は時期尚早であると結論づけた。今後も県内自治体の状況を把握しつつ、研究を継続する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究】 国や導入自治体の状況、諸課題等から、導入は時期尚早であると結論づけている。今後も県内自治体の状況を把握しつつ研究する。
実施状況	同上

No.6 環境に配慮した商品・サービスを扱う店舗への支援（彩の国エコぐるめ事業）

評価 ☆

取組内容	埼玉県が推進している食品廃棄物を減らす取り組みの一つである「彩の国エコぐるめ事業」に、入間市食品衛生協会、入間市料飲業組合と協働で取り組み、食品ロス等について市民への意識啓発を図る。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進（登録 50 店舗）】 ①市民への周知を図るため、「食品ロス」削減についてのチラシを作成する。 ②入間市食品衛生協会、入間市料飲業組合と協働し、埼玉県が推進する「彩の国エコぐるめ事業」への登録店舗数を拡大する。
実施状況	○「彩の国エコぐるめ事業」への登録店舗数の拡大に努めた（令和元年度末 52 店舗）。 ○食べ残しをしない取り組みへの理解を参考とした、市民向け啓発パンフレット等（消費者庁作成）を配布。 ○第 22 号リサイクルプラザ情報誌に食品ロス削減及びフードドライブ食品活用の内容を掲載。

◎ボランティアの育成と活用

No.7 NPO等の民間団体との連携の促進

評価 —

取組内容	地域活動の核である「ごみ減量化等推進協力会」を構成する各種団体と連携し、ごみ減量の取り組みを推進する。併せて、福祉関係団体や民間団体等との連携を促進する。								
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①ごみ減量に取り組んでいる NPO 及び民間団体との連携を図り、地域のネットワークを広げる。民間団体等と連携し、行政・市民が抱えている課題等について研究する。								
実施状況	○ごみ減量化等推進協力会の開催（2 回/年） ・第 1 回 7 月 31 日（水） 18 名 第 2 回 2 月 28 日（金） 11 名 協力会委員（団体）へ「ごみ“0”運動」について説明 第 2 回会議で各団体が活動報告 ○ごみ減量マイバッグ推進キャンペーンの実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">実施日</td> <td>令和元年 10 月 9 日（水）</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>丸広百貨店入間店</td> </tr> <tr> <td>協力団体</td> <td>ごみ減量化等推進協力会委員 商工会、環境まちづくり協議会 リサイクル研究室ボランティアスタッフ 相撲春日野部屋</td> </tr> <tr> <td>配布物</td> <td>啓発チラシ、廃油固形石けん、 ポケットティッシュ 各 350 個</td> </tr> </table>	実施日	令和元年 10 月 9 日（水）	実施場所	丸広百貨店入間店	協力団体	ごみ減量化等推進協力会委員 商工会、環境まちづくり協議会 リサイクル研究室ボランティアスタッフ 相撲春日野部屋	配布物	啓発チラシ、廃油固形石けん、 ポケットティッシュ 各 350 個
実施日	令和元年 10 月 9 日（水）								
実施場所	丸広百貨店入間店								
協力団体	ごみ減量化等推進協力会委員 商工会、環境まちづくり協議会 リサイクル研究室ボランティアスタッフ 相撲春日野部屋								
配布物	啓発チラシ、廃油固形石けん、 ポケットティッシュ 各 350 個								

No.8 イベントの開催・参加の促進

評価 ◎

取組内容	講演会やイベント等の開催により、ごみ減量・資源化等の意識啓発を図る。								
目 標	<p>平成 29 年度～令和 2 年度 【継続（3 回/年）】</p> <p>①ごみ減量・資源化に関する講演会を年 1 回以上開催する。</p> <p>②リサイクルフェア（入間万燈まつり）、環境フェア等の事業に参加し、ごみ減量・資源化等の意識啓発を図る。</p> <p>③その他事業への参加を検討する。</p>								
実施状況	<p>○ごみ減量等講演会 令和元年3月17日（火）</p> <p>演題 今、『ごみ清掃員の日常』から地域の環境・未来を考える</p> <p>講師 滝沢 秀一（マシンガンズ）氏 （太田プロダクション所属）</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期</p> <p>○各種事業への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入間万燈まつりでリサイクルフェア開催 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">実 施 日</td> <td>10月26日（土）、27日（日）</td> </tr> <tr> <td>協 力 者</td> <td>延べ47人</td> </tr> <tr> <td>再生品販売</td> <td>1,428点</td> </tr> <tr> <td>配 布 物</td> <td>啓発チラシ 100部 試供品固形石けん 200個 ポケットティッシュ 100個</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回いるま環境フェア参加 ・生涯学習フェスティバル参加（おもちゃ病院開設） 	実 施 日	10月26日（土）、27日（日）	協 力 者	延べ47人	再生品販売	1,428点	配 布 物	啓発チラシ 100部 試供品固形石けん 200個 ポケットティッシュ 100個
実 施 日	10月26日（土）、27日（日）								
協 力 者	延べ47人								
再生品販売	1,428点								
配 布 物	啓発チラシ 100部 試供品固形石けん 200個 ポケットティッシュ 100個								

●ごみ減量の推進

◎ごみ減量の推進

No.9 リサイクルプラザの活用

評価 ◎

取組内容	リサイクルプラザを情報発信の拠点として、市民ボランティアを中心に各種事業を実施する。
目 標	<p>平成 29 年度～令和 2 年度 【推進（各種教室への参加 3,000 人/年 リサイクルの日/10 回）】</p> <p>①リサイクルの日の事業を継続する。併せて、内容等を見直し事業の充実を図る。</p> <p>②体験教室等各種事業を実施する。</p>

実施状況	○リサイクルの日の開催（8回）	10月（荒天）、3月（感染拡大防止）のため中止	
	・毎月第2日曜日「リサイクルの日」（4月、11月を除く）のイベント事業		
		令和元年度	平成30年度
	来館者数	997人	1,840人
	ミニフリーマーケット	98件	113件
	生ごみたい肥化相談	3人	0人
	マイバッグ製作	82人	72人
	布ぞうり作り	79人	71人
	さきおり	10人	7人
	おもちゃ病院	88件	96件
	よろず修理	102件	103件
	○各種事業の実施（主なもの）		
		令和元年度	平成30年度
	参加者数	2,690人	2,816人
	・施設見学		
	令和元年度	平成30年度	
市内小学校4年生	1,169人（16校）	1,174人（15校）	
その他	352人	468人	
合計	1,521人	1,642人	
・出前講座（2回開催）			
・夏休み親子体験教室			
ラップの芯で「空飛ぶ円盤」作り			
牛乳パックで「手おし車」作り			
おり機で「コースター」作り			
古布で「壁掛けフレーム」作り			
古布で「布ぞうり」作り			
・体験教室			
廃油で固形石けん作り（同内容3回開催）			
傘布でマイバッグ作り（同内容2回開催）			
紙すきをして絵てがみ作り			
はぎれで小物入れ作り（同内容2回開催）			
ジーンズでマイバッグ作り（同内容2回開催）			
帯地でトートバッグ作り（同内容2回開催）			
さきおり体験（同内容9回開催）			

<ul style="list-style-type: none"> リサイクル移動教室 古布で布ぞうり作り（西武公民館、藤沢公民館、藤の台公民館） 出張おもちゃ病院 <table border="1" data-bbox="419 353 1353 925"> <tr> <th>保育所（4回開催）</th> <th>公民館（10回開催）</th> </tr> <tr> <td>藤沢保育所</td> <td>東金子公民館</td> </tr> <tr> <td>藤沢第2保育所</td> <td>藤沢公民館</td> </tr> <tr> <td>宮寺保育所</td> <td>高倉公民館</td> </tr> <tr> <td>豊岡保育所</td> <td>金子公民館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西武公民館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>扇町屋公民館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東町公民館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>久保稻荷公民館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>宮寺公民館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西武公民館</td> </tr> </table> <p>※市保育所10か所のうち4会場に集約し実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 東っ子まつり（藤沢東小学校）おもちゃ病院開設 おもちゃ病院技能講習会 	保育所（4回開催）	公民館（10回開催）	藤沢保育所	東金子公民館	藤沢第2保育所	藤沢公民館	宮寺保育所	高倉公民館	豊岡保育所	金子公民館		西武公民館		扇町屋公民館		東町公民館		久保稻荷公民館		宮寺公民館		西武公民館
	保育所（4回開催）	公民館（10回開催）																				
	藤沢保育所	東金子公民館																				
	藤沢第2保育所	藤沢公民館																				
	宮寺保育所	高倉公民館																				
	豊岡保育所	金子公民館																				
		西武公民館																				
		扇町屋公民館																				
		東町公民館																				
		久保稻荷公民館																				
	宮寺公民館																					
	西武公民館																					

No.10 生ごみ処理機器の購入費補助による普及拡大

評価 ○

取組内容	生ごみの家庭内処理を促進し、生ごみの減量及び資源化を図るため、生ごみ処理機器の購入者に対して購入費の一部を補助する。 （コンポスト1世帯/2基・電気式1世帯/1基 ともに耐用年数5年）											
目標	平成29年度～令和2年度 【推進（40基/年）】 ①リサイクルの日に実施している生ごみ堆肥化相談の充実を図る。 ②市民農園当選者及び市内電気店利用者へのチラシ配布により購入費補助の周知を図る。											
実施状況	○コンポスト及び電気式処理機器購入者への補助 <table border="1" data-bbox="427 1742 1358 1899"> <tr> <td></td> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> <tr> <td>コンポスト1世帯2基まで</td> <td>9基</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td>電気式1世帯1基まで</td> <td>10基</td> <td>11基</td> </tr> </table>				令和元年度	平成30年度	コンポスト1世帯2基まで	9基	6基	電気式1世帯1基まで	10基	11基
	令和元年度	平成30年度										
コンポスト1世帯2基まで	9基	6基										
電気式1世帯1基まで	10基	11基										
	○生ごみたい肥化相談 <ul style="list-style-type: none"> 第2日曜日「リサイクルの日」に使い方等説明 											
	○市民農園当選者へ生ごみ処理機器購入費補助金のチラシを配布し周知（東町、藤宮市民農園）											

	○J Aいるま野各支店へ生ごみの家庭内処理促進、ごみ減量を図るためのチラシを窓口に設置依頼
--	---

No.11 家庭系ごみの削減対策の推進

評 価 ○

取組内容	<p>買い物におけるマイバッグの利用やごみを出さない生活スタイルを推進する。 ごみ減量に効果を上げている先進事例等について調査・研究する。</p>																																																																													
目 標	<p>平成 29 年度～令和 2 年度 【推進】</p> <p>①令和 2 年度までに、家庭系ごみ 1 人 1 日あたりの排出量を 638g まで削減する。 ②スーパーマーケット等で実施しているマイバッグキャンペーンを継続（拡大）する。 （2 日/年） ③ごみ減量推進地区説明会を継続する。（12 自治会） ④ごみ“0”運動を推進する。 ⑤ごみ減量の取り組みについて、先進事例を調査・研究する。</p>																																																																													
実施状況	<p>○家庭系ごみ 1 人 1 日：グラム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%;">令和元年度</th> <th style="width: 25%;">平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみ排出量（集団回収除く）</td> <td style="text-align: center;">657</td> <td style="text-align: center;">656</td> </tr> <tr> <td>総排出量（集団回収含む）</td> <td style="text-align: center;">854</td> <td style="text-align: center;">859</td> </tr> </tbody> </table> <p>○マイバッグキャンペーンの実施</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">実 施 日</td> <td>令和元年 10 月 9 日（水）</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>丸広百貨店入間店</td> </tr> <tr> <td>参加協力者</td> <td>31 人</td> </tr> <tr> <td>啓発チラシ</td> <td>350 部</td> </tr> <tr> <td>配布物</td> <td>試供品固形石けん 350 個 ポケットティッシュ 350 個</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ごみ減量推進地区説明会の実施（11 自治会）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 10%;">地区</th> <th style="width: 30%;">自治会</th> <th style="width: 20%;">実施日</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 15%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>宮・二</td> <td>南中野自治会</td> <td>7 月 6 日（土）</td> <td>中野荘</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>藤沢</td> <td>藤沢第 10 区自治会</td> <td>7 月 7 日（日）</td> <td>東藤沢公民館</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>藤沢</td> <td>藤沢第 7 区自治会</td> <td>7 月 13 日（土）</td> <td>7 区公会堂</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>宮・二</td> <td>武蔵台自治会</td> <td>7 月 20 日（土）</td> <td>武蔵台自治会館</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>豊岡</td> <td>高倉東自治会</td> <td>7 月 28 日（日）</td> <td>高倉ハイツ集会所</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>豊岡</td> <td>入間扇町屋第三住宅自治会</td> <td>8 月 24 日（土）</td> <td>団地集会所</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>豊岡</td> <td>第一駅前プラザ自治会</td> <td>9 月 1 日（日）</td> <td>10 号棟集会所</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>西武</td> <td>第三区自治会</td> <td>9 月 5 日（木）</td> <td>第三区公会堂</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>						令和元年度	平成 30 年度	ごみ排出量（集団回収除く）	657	656	総排出量（集団回収含む）	854	859	実 施 日	令和元年 10 月 9 日（水）	実施場所	丸広百貨店入間店	参加協力者	31 人	啓発チラシ	350 部	配布物	試供品固形石けん 350 個 ポケットティッシュ 350 個	No.	地区	自治会	実施日	場所	参加人数	1	宮・二	南中野自治会	7 月 6 日（土）	中野荘	21	2	藤沢	藤沢第 10 区自治会	7 月 7 日（日）	東藤沢公民館	42	3	藤沢	藤沢第 7 区自治会	7 月 13 日（土）	7 区公会堂	36	4	宮・二	武蔵台自治会	7 月 20 日（土）	武蔵台自治会館	20	5	豊岡	高倉東自治会	7 月 28 日（日）	高倉ハイツ集会所	21	6	豊岡	入間扇町屋第三住宅自治会	8 月 24 日（土）	団地集会所	24	7	豊岡	第一駅前プラザ自治会	9 月 1 日（日）	10 号棟集会所	20	8	西武	第三区自治会	9 月 5 日（木）	第三区公会堂	45
	令和元年度	平成 30 年度																																																																												
ごみ排出量（集団回収除く）	657	656																																																																												
総排出量（集団回収含む）	854	859																																																																												
実 施 日	令和元年 10 月 9 日（水）																																																																													
実施場所	丸広百貨店入間店																																																																													
参加協力者	31 人																																																																													
啓発チラシ	350 部																																																																													
配布物	試供品固形石けん 350 個 ポケットティッシュ 350 個																																																																													
No.	地区	自治会	実施日	場所	参加人数																																																																									
1	宮・二	南中野自治会	7 月 6 日（土）	中野荘	21																																																																									
2	藤沢	藤沢第 10 区自治会	7 月 7 日（日）	東藤沢公民館	42																																																																									
3	藤沢	藤沢第 7 区自治会	7 月 13 日（土）	7 区公会堂	36																																																																									
4	宮・二	武蔵台自治会	7 月 20 日（土）	武蔵台自治会館	20																																																																									
5	豊岡	高倉東自治会	7 月 28 日（日）	高倉ハイツ集会所	21																																																																									
6	豊岡	入間扇町屋第三住宅自治会	8 月 24 日（土）	団地集会所	24																																																																									
7	豊岡	第一駅前プラザ自治会	9 月 1 日（日）	10 号棟集会所	20																																																																									
8	西武	第三区自治会	9 月 5 日（木）	第三区公会堂	45																																																																									

9	金子	下谷ケ貫自治会	9月 7日 (土)	下谷ケ貫公会堂	31
10	東金子	東金子 12 区下組自治会	9月 8日 (日)	12 区集会所	※25
11	東金子	東金子 21 区自治会	9月 14日 (土)	ハynes入間ガーデンア集会所	20
12	豊岡	入間駅前プラザ自治会	9月 23日 (月)	駅前プラザ団地 10 号棟集会所	24
※荒天のため資料配布のみ					合計 329 人
<p>〇ごみ“0”運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化等推進協会の開催 7月31日(水)、2月28日(金) 「ごみ“0”運動」についての説明及び各団体の活動報告 <p>〇先進事例の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター建設対策協議会及びリサイクル研究室ボランティアスタッフが合同で、中心市街地にあるクリーンセンターの活用について、武蔵野クリーンセンターで視察研修をおこなった。 					

No.12 事業者の一般廃棄物排出抑制の推進

評価 ○

取組内容	県と連携し事業系ごみ削減キャンペーンを実施する。また、搬入前の内容物検査を強化する。	
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進】 ①令和 2 年度までに、事業系ごみを 7,925 t まで削減する。 ②事業系ごみ削減キャンペーン（チラシの配布）を継続する。 ③事業系ごみ搬入検査を 2 日以上実施する。	
実施状況	〇事業系ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ）	令和 元年度 8,619 t 平成 30 年度 8,705 t
	〇事業系ごみ削減キャンペーン（チラシの配布）の実施 チラシ「事業系ごみを減らしましょう」を 10 月に配布 事業系ごみの削減についてホームページに掲載しPR	
	〇事業系ごみ搬入検査の実施（2 日/年） 実施日 10 月 23 日（水）、30 日（木） 検査件数 14 件（指導件数 5 件）	

No.13 ごみ減量アクションプランの作成

評価 ☆

取組内容	ごみ減量・資源化に関する行動計画（4ヶ年計画）を策定する。基本施策や数値目標の達成状況を踏まえて、必要に応じて基本計画を修正する。
------	---

目 標	平成 29 年度計画策定 【継続】 ①平成 29 年度末までにごみ減量アクションプランを策定する。 ②毎年、数値目標の達成状況を確認し、必要に応じて基本計画を修正する。
実施状況	○平成 30 年 3 月に第 4 次ごみ減量・資源化に関する行動計画（平成 29 年度～令和 2 年度）を策定

評 価 ー

No.14 家庭系ごみ有料化の検討

取組内容	ごみ減量、ごみ意識の向上を図るため、ごみ排出量に応じた費用負担等家庭系ごみの有料化について研究する。平成 28 年度に導入について検証したが、費用対効果は少ないと結論づけた。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①県内自治体の有料化の導入状況を把握する。 ②有料化を導入している自治体の費用対効果等を検証する。 ③先進事例等を研究する。
実施状況	○県内自治体の状況等から導入は当面しないが検討を継続する。

●リサイクルの推進

◎ごみ分別収集の推進

評 価 ☆

No.15 分かりやすいごみ分別の検討

取組内容	ごみ排出者の利便性や収集効率等を考慮し、分かりやすいごみの分別方法を研究・検討する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①市民が分かりやすいごみの分別方法を研究・検討する。 ②必要に応じてごみチャンネルを改訂する。
実施状況	○市公式ホームページ及び分別アプリの記事を改訂した。 ○「入間市の家庭ごみの分け方・出し方」を改訂し各戸に配布した。

評 価 ー

No.16 高齢者等のごみ出し支援の検討

取組内容	高齢者や障害者でごみ出しが困難な方への支援策を検討する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①ごみ出し支援有償ボランティア団体の活動状況を把握する。 ②見守りボランティア事業の実施状況を把握する。

	③福祉部門等と連携し、支援策等を検討する。
実施状況	○福祉部門等で高齢者等へのごみ出し支援を実施している。

No.17 ごみ分別アプリの活用

評価 ☆

取組内容	ごみ分別アプリの登録を推進し、分別方法の周知や各種イベント情報の配信を行い、ごみの適正な分別、資源化等を促進する。
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進（ダウンロード数 6,000 件）】 ①アプリの登録件数を推進する。 ②各種イベント情報の配信を継続する。 ③降雪時等ごみ収集情報の配信を継続する。
実施状況	ダウンロード数 令和 元年度末/9,476 件 平成 30 年度末/7,014 件 ○施設見学等で分別アプリチラシを配布 ○イベント情報の配信 リサイクルフェア、あおぞらフリーマーケット等 ○ごみに関する情報の配信 食品ロス等 ○降雪や台風時等のごみ収集情報を配信

No.18 戸別収集の検討

評価 —

取組内容	ごみ排出者の責任の明確化、市民の利便性向上、集積場所選定の困難性等を考慮し、戸別収集の実施について検討する。なお、平成 28 年度に検証を行ったが、収集費用が大幅に増加する等の理由により、導入については検討を要すると結論づけた。
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①県内のごみ有料化と戸別収集の導入状況を把握する。 ②導入自治体の先進事例等を検証する。
実施状況	○県内自治体の状況等から当面は導入しないが検討を継続する。

No.19 収集体制（頻度）の継続

評価 ☆

取組内容	更なるごみの減量・資源化に向け、現在の分別区分及び収集頻度（体制）等を研究・検討する。
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①ごみ減量・資源化に向け、有効な分別区分及び収集頻度（体制）等研究・検討する。
実施状況	○「平成 30 年度入間市一般廃棄物処理計画（実施計画）」を策定し今後も状況に応じて見直していく。

	可燃ごみ週3回、不燃ごみ週1回、資源ごみ（ビニール・プラスチック週1回、古布・紙類、ビン、缶、ペットボトル月各2回）、粗大ごみ随時
--	---

◎ごみ資源化の推進

評 価 ○

No.20 資源再利用奨励補助の推進

取組内容	古布、紙類等の資源化を推進するため、資源回収登録団体に資源再利用奨励補助を行う。		
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進（260 団体/3,600 t）】 ①広報紙等を通じて、定期的に制度を広く市民に周知する。 ②自治会・スポーツ団体等に資源再利用奨励補助制度を直接周知する。		
実施状況	○資源再利用奨励補助金交付状況		
		令和元年度末	平成 30 年度末
	登録団体数/回収量	196 団体/2,048 t	198 団体/2,235 t
	○広報いるま及びリサイクルプラザ情報誌等により周知を行った。		
	○ごみ減量推進地区説明会及び出前講座で周知を行った。		
	団 体 名	実 施 日	場 所
	久保稲荷 2 丁目助け合いの“わ”	11 月 21 日（木）	社会福祉法人創和
	新久小学校 4 年	11 月 22 日（金）	新久小学校
			参加人数
			16 人
			44 人

No.21 学校給食におけるリサイクルの推進

評 価 —

取組内容	学校給食センターにおける生ごみの資源化を継続する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①学校給食センターにおける生ごみの資源化を継続する。
実施状況	○平成 30 年 12 月で製造機械の老朽化に伴う故障のため販売終了

No.22 焼却灰の資源化の推進

評 価 ○

取組内容	最終処分場の延命と資源化率を向上させるため、焼却灰の資源化を推進する。		
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進（1,200 t/年）】 ①年 1,000 t の焼却灰の資源化量を 1,200 t に引き上げる。		
実施状況	○確保できた予算の範囲内で焼却灰の資源化を行った。		
	・焼却灰の資源化	約 1,000 t/年	・資源化率（資源回収含む） 23.67%

--	--

No.23 事業者における生ごみ等の資源化の推進

評価 ー

取組内容	スーパーマーケット、コンビニエンスストアや飲食店等から排出される生ごみ等の資源化を推進する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①登録再生利用事業者制度を活用する。
実施状況	未登録

No.24 ごみの資源化の推進

評価 ×

取組内容	ごみ分別による資源化を推進する。																		
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進（資源化率 30%）】 ①混合カレットの資源化を推進する。（700 t /年） ②小型家電リサイクル事業を推進するため、平成 29 年度、4 公民館に回収ボックスを増設する。（小型家電リサイクル 150 t /年） ③平成 29 年度から「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加する。 ④雑がみリサイクル事業を推進する。広報紙や印刷物へのリサイクルマークの掲載を継続する。																		
実施状況	<p>○混合カレットの資源化を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体資源化率</td> <td>23.67%</td> <td>24.25%</td> </tr> <tr> <td>混合カレット年間数量</td> <td>595.49 t /年</td> <td>623.75 t /年</td> </tr> <tr> <td>混合カレット資源化率</td> <td>91.77%</td> <td>91.98%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成 29 年度に増設した小型家電回収ボックスを利用して回収した。 小型家電リサイクル拠点回収（ボックス回収）市役所、リサイクルプラザ、各公民館 合計 15ヶ所</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型家電の回収量</td> <td>6.65 t /年</td> <td>75.9 t /年</td> </tr> </tbody> </table> <p>○不要になった小型家電に含まれるリサイクル材が活用された。 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」は平成 31 年 3 月末で終了。</p> <p>○雑がみリサイクルの推進のため広報物等へリサイクルマークの掲載を行うとともに継続して PR した。</p>		令和元年度	平成 30 年度	全体資源化率	23.67%	24.25%	混合カレット年間数量	595.49 t /年	623.75 t /年	混合カレット資源化率	91.77%	91.98%		令和元年度	平成 30 年度	小型家電の回収量	6.65 t /年	75.9 t /年
	令和元年度	平成 30 年度																	
全体資源化率	23.67%	24.25%																	
混合カレット年間数量	595.49 t /年	623.75 t /年																	
混合カレット資源化率	91.77%	91.98%																	
	令和元年度	平成 30 年度																	
小型家電の回収量	6.65 t /年	75.9 t /年																	

●ごみ処理施設の充実

◎ごみ処理施設の適正管理

評 価 ☆

No.25 ごみ処理施設の環境保全情報の公開

取組内容	ごみ焼却施設から発生する排ガス分析結果等を公開する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①焼却施設、最終処分場のダイオキシン類調査結果及び維持管理に関する情報を継続してホームページで公開する。
実施状況	○ダイオキシン類測定結果（総合クリーンセンター、最終処分場）の公表を行った。 ○最終処分場の「放流水及び監視井戸水放射性物質濃度測定結果」及び「敷地境界空間放射線量率測定結果」の公表を行った。（市報、市公式ホームページ掲載）

評 価 ☆

No.26 ごみ処理施設の長寿命化に伴う改修工事の実施

取組内容	現施設は稼働後 20 年が経過し、設備機器の多くが耐用年数を迎えている。新たな施設の建設には膨大な予算と住民の合意が必要なことから、現施設の延命のための修繕及び改修工事を実施する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①現施設が正常に稼働できるよう必要に応じて定期的に修繕を実施する。 ②現施設の延命を図るため、計画的な改修工事を実施する。
実施状況	○定期的な修繕及び計画的な改修工事の実施 ・焼却施設 焼却炉内の耐火物、温水発生器の修繕等 ・破碎施設 粗大ごみ破碎機の修繕等 ・改修工事 3 系の白煙防止用空気加熱器を更新

評 価 —

No.27 旧ごみ焼却施設（宮寺清掃センター）の解体撤去、跡地利用の検討

取組内容	旧ごみ焼却施設を安全に解体撤去し、跡地の有効利用等を研究する。
目 標	平成 29 年度～令和 2 年度 【研究・検討】 ①旧ごみ焼却施設を安全に解体撤去する方法や、将来に向けて跡地の有効利用等を研究する。
実施状況	○現在、ペットボトルの圧縮・梱包業務、カレット・廃乾電池等選別業務、古布類選別業務を実施しているが、安全な解体撤去の方法や跡地利用について今後検討する。

◎最終処分場の適正管理

評価 ◎

No.28 最終処分場の延命化の推進

取組内容	残余容量を把握し、埋立可能年数を算定する。また、施設の適正な維持管理を行う。
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【推進】 ①残余容量から令和 10 年度位に満杯となる見込みである。更なるごみの減量と飛灰の資源化等を継続して実施し、施設の延命化を図る。
実施状況	○施設の適正な維持管理を実施 ○ごみ減量施策の実施・推進 ○焼却灰の資源化の実施 約 1,000 t /年

◎次期最終処分場の建設準備

評価 ☆

No.29 次期最終処分場の建設に向けた検討・計画の策定及び整備の推進

取組内容	新たな最終処分場の建設に向けた検討を行う。併せて建設計画等を策定する。
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【計画策定】 ①次期最終処分場整備スケジュールに基づき、建設に向け計画の策定等に着手する。
実施状況	○施設整備基本構想の策定 (仮称) 入間市一般廃棄物最終処分場拡張整備説明会開催 金子公民館(24 人)、桂公会堂(11 人)、木蓮寺公会堂(20 人)の3か所 今後継続を予定

◎災害対策

評価 ○

No.30 災害時における廃棄物収集運搬体制の確立

取組内容	災害廃棄物、家庭から出される一般廃棄物及びし尿の収集など、応急的対策を適確かつ迅速に実施できる体制を確立する。
目標	平成 29 年度～令和 2 年度 【継続】 ①平成 29 年度、ダイア 4 市の清掃部会で災害廃棄物の処理について研究する。 ②一般廃棄物収集許可業者との協力体制を研究・構築する。 ③災害対策協会及び収集車両を保有している業者との協力体制を研究・構築する。 ④災害廃棄物処理基本計画の策定について研究(策定)する。
実施状況	○平成 29 年度に西部地域まちづくり協議会清掃部会で「災害時における支援体制の構築」をテーマに研究 ○許可業者アンケート調査

	<p>平成29年度に実施した災害廃棄物の収集運搬の結果をまとめた（平成30年4月）</p> <p>○市内5業者とし尿収集災害協定（平成28年2月に締結）</p> <p>○入間市災害廃棄物処理計画の策定中</p>
--	---

No.31 災害廃棄物の一時保管場所（仮置場）の確保

評価 △

取組内容	災害時、がれき類などを一時的に保管する場所は選定済みである。今後は、災害廃棄物の分類方法、保管位置、搬入車両の進入経路等について具体的な計画を策定する。
目標	<p>平成29年度～令和2年度 【継続】</p> <p>①災害廃棄物の分類方法、保管位置、搬入車の進入経路等具体的な計画（マニュアル等）を作成する。</p>
実施状況	<p>○災害廃棄物仮置場候補地5ヶ所</p> <p>○入間市災害廃棄物処理対応マニュアル（初期対応版）作成済</p>

No.32 県、近隣自治体との連携

評価 ☆

取組内容	県、近隣自治体等と広域的な連携体制を継続する。
目標	<p>平成29年度～令和2年度 【継続】</p> <p>①現在締結している協定を継続する。また、新たな協定の構築等研究する。</p>
実施状況	<p>○災害廃棄物等の処理に関する相互支援協定（埼玉県内の市町村）継続</p> <p>○災害廃棄物等の処理の協力に関する協定（埼玉県一般廃棄物連合会）継続</p> <p>○大規模災害時における相互応援に関する協定（ダイア4市）締結</p> <p>○ごみ処理の協力体制に関する実施協定（ダイア4市）締結</p> <p>○大規模災害時における仮設トイレの手配及び生活水搬送、し尿・生ごみ・災害廃棄物の処理に関する協定（NPO法人総合生活環境支援センター）継続</p> <p>○令和元年度西部地域まちづくり協議会清掃部会で「プラスチック削減について」をテーマに研究</p> <p>○狭山郵便局との協定（平成30年7月に締結）</p> <p>地域における協力に関する協定（不法投棄物等を発見した場合の連絡）</p> <p>○全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に加入</p> <p>食品ロス削減に関する取り組みや成果の情報共有と情報発信を行う</p> <p>○「プラスチック・スマート」フォーラムに入会</p> <p>海洋プラスチック問題の解決に貢献する取組みのチラシをリサイクルプラザ館内に掲示</p>

